

亀田東児童館指定管理者事業計画の比較

江南区役所健康福祉課

評価項目	特定非営利活動法人ワーカーズコープ	次点	次々点
1. 事業者の概要	設立 平成13年9月13日 資本金 0千円 事業高 4,527,748千円(平成22年3月末) 従業員数 922名 事業内容 子育て支援事業、高齢者の介護予防事業、介護保険対応事業、職業訓練講座等 指定管理実績 子育て施設127施設、高齢者・子育て複合施設6施設(本市:3施設)	設立 昭和61年11月1日 資本金 10,000千円 売上高 13,726,951千円(平成22年3月末) 従業員数 6,377名 事業内容 施設運営サービス事業、保育サービス事業、給食・食堂サービス事業、用務サービス事業等 指定管理実績 新橋児童館、あかつか児童センターなど17施設(本市:なし)	設立 平成7年11月13日 資本金 3,000千円 売上高 72,082千円(平成21年12月末) 従業員数 54名 事業内容 ベビーシッター業務、託児所業務、イベント保育業務 指定管理実績 なし
2. 基本方針 (1)応募した動機 (2)運営の理念 (3)運営の具体的な考え方、内容	(1) 当該児童館の指定管理者として見えてきた課題解決に努めながら、子育て環境の充実に貢献したい。 (2) 子ども、親、地域住民が主体的に運営に参加し、地域子育て支援の拠点、地域コミュニティの核となる児童館を目指す。 (3) 一人ひとりに向き合う姿勢を大切に。子ども、親、地域住民が主体となる。本市の取り組みの継承、時代のニーズに応える。地域に愛される児童館づくりを通して利用を広げる。	(1) 実績とノウハウを有する当社ならではの施設運営の効率化、行事企画運営、経費縮減など利用者並びに本市に効果を実感してほしい。 (2) 公の施設管理者としての自覚と責任感を持ち、児童館のビジョン達成に向け、地域に喜ばれる施設運営に努める。 (3) 児童期に身につけておきたい多くの能力や生きる力を育てる。子育てに対する不安を解消するための支援。地域の子育て推進力の向上を図る。	(1) 手をかけなければ親も子育てしない時代であり、地域全体で支える必要がある。子どもや地域のために貢献したい。 (2) 児童厚生施設としての理解及び取り組み。平等利用の確保。保護者、地域及び関係機関との連携。 (3) 地域コミュニティの確立を目指す。中高生が子育てについて真摯に考えるきっかけづくりをする。子どもの社会性、自主性、思いやりの心を培う。
3. 運営組織 (1)職員数、資格 (2)勤務体制 (3)人材確保等	(1) ・施設長(常勤8時間、週5日) ・児童厚生員(常勤8時間、週5日) 2名 ・児童厚生員(非常勤5時間、週5日) 3名 (2) 亀田東小学校の下校時にあわせ職員配置を厚くする。 (3) 職員の質は非常に重要である。現在の職員は子どもに向き合う姿勢や情熱があり、様々な技能を有している。	(1) ・施設長(常勤8時間、週5日) ・児童厚生員(常勤8時間、週5日) 3名 ・児童厚生員(非常勤8時間、週3日) 1名 ・支援員(非常勤8時間、週3日) 1名 ・支援員(非常勤5時間、週2日) 1名 (2) 月～金:4人 土日:午前3人、午後4人 (3) 有資格者・経験者を採用し、亀田地区在住者を優先する。当社職員として業務遂行に意欲的に取り組む者を採用。	(1) ・施設長(常勤8時間、週5日) ・児童厚生員(常勤8時間、週5日) 2名 ・指導員(非常勤5時間、週5日) 2名 ・指導員兼事務() 1名 ・指導員補助(非常勤5時間、週3日) 2名 (2) 月～金:3～3.5人 土日:4～4.5人 (3) 現雇用者から、資格を有し優れた人材を確保するとともに、できるだけ若い人材を確保する。
4. 事業計画 (1)健全育成事業 ①乳幼児期 ②小学生期 ③中学・高校生期 (2)地域交流 (3)子育て支援事業 (4)利用促進 (5)要望・苦情対応	(1) 親子、地域と企画し、各年代に合わせた指導、活動に取り組む。 親子で一緒に遊ぶこと、保護者への子育て支援を重視する。 一人ひとりの意欲、願いに沿いながら、主体的な育ちを応援する。 (2) 地域住民が主体的に関わり、児童館があって地域が活性化し、地域コミュニティの核として発展させる。関係機関との連携、地域ボランティアを育成し、地域で子どもの成長を見守り、子育てを支えあう関係を築く。 (3) 地域の中で親同士の交流、学び、支えあいの場として親子が安心して集まれる場所を作り出す。 (4) ニーズの把握に努め、誰でも利用しやすい雰囲気をつくる。 (5) 誠意を持って迅速に対応する。	(1) 子育て講座や実技講習の提供、活動場所の提供、自主活動への支援など、保護者同士の仲間づくりや活動の組織化を目標とする。日常活動の集約の場であると考え、目的を明確にした事業展開を行う。創意工夫を凝らして活動できる居場所となるよう取り組む。 (2) 地域との心の通った関係を構築するため、地域住民が出入りしやすい環境をつくる。地域団体の会合へ積極的に参加し、健全育成活動が推進されるよう働きかける。運営委員会で意見を聴取する。 (3) 子育て支援の拠点として地域の子育て推進力の向上を図り、保護者同士の交流を深め、連携の輪を広げる。 (4) 生活や遊びの場となるよう、来館しやすい環境整備を目指す。 (5) 対応結果の情報公開に努める。指定管理者として柔軟な対応をする。	(1) 母親同士の交流を図る。子育て講座で共に学び、育児相談を開設し、子育ての不安を解消する。友人の気持ちを考える力を育み、自分で考え、行動することができるよう支援する。イベント等で交流を図り、仲間意識を向上させ、社会性を育む。 (2) 運営委員会を開催し、地域との情報交換や連携を図る。地域の協力を得ながらイベントを行う。ボランティアを募り、講師やスタッフとして参加してもらうことで地域との連携を深める。 (3) 子育て講座を中心に共に学び、育児相談を開設し、安心できる場とするよう心がける。 (4) ・(5) 利用者との定期的な懇談会を行うなど、問題点の収集に努める。解決結果は館内掲示、ホームページ等で公表する。
5. 危機管理、施設維持管理 (1)事故・防災対策 (2)緊急時の対応 (3)個人情報保護 (4)施設管理 (5)環境に対する配慮	(1) 定期的なチェックと事故防止の日常的な注意を職員間で徹底する。 (2) 医療機関情報を収集し、マニュアルに従い必要に応じ児童を受診させ、保護者に説明する。災害別に職員の役割分担を明確しておく。 (3) 法令を遵守しかつ法人内部規定に基づき個人情報を保護する。職員の学習と点検を継続的にし、管理責任者をおく。 (4) 管理業務は月に1度総チェックする。遊具等は適宜消毒、利用者に衛生面の注意を呼びかける。鍵の管理を徹底する。 (5) 4Rを利用者、職員間で徹底する。4Rを掲示し、利用者にも呼びかける。	(1) 運営ノウハウや経験値を有効活用し、施設面、対利用者、従業員間で予防策実行を徹底する。 (2) 危機管理マニュアル・緊急連絡網等を作成し研修やミーティングで確認する。業務連絡を一斉配信できる携帯電話システムを導入。 (3) 個人情報保護マネジメントシステムを策定し、プライバシーマークを取得済み。対策の強化と徹底を図る。 (4) 快適な環境の維持、美観の維持、施設の定期的な点検と問題点検討会議を行う。 (5) 関連法規の遵守。職員間のチェック、利用者への啓発活動を行う。エコキャップ推進協会への協力。	(1) 定期的な安全点検と子ども自身の能力を高める安全指導を行う。 (2) 利用者の緊急連絡体制を整える。緊急マニュアルを作成し、緊急時には全職員が24時間体制で対応する。 (3) 法令遵守を徹底。定期的に研修会を実施、スタッフと誓約書を交わす。情報を施設管理し、管理者の下で取り出す。 (4) 利用者を利用時の心得を指導し、スタッフは館内清掃、衛生管理に努める。安全点検を毎月行う。 (5) 5Rを利用者、スタッフ間で徹底する。利用者にはわかりやすく提示し、呼びかける。
6. 収支計画 (23年度分) (1)設定内容 (2)経費削減の工夫	(1) 収入 指定管理料 18,312千円 支出 人件費 13,314千円 管理運営費 4,998千円 (2) ・節電、節水、通風の工夫、クールビズ、ウォームビズなどの励行。 ・地域への物品の寄付呼びかけによるリサイクルの推進。	(1) 収入 指定管理料 18,900千円 支出 人件費 14,763千円 管理運営費 4,137千円 (2) ・経験者を多く採用し、研修参加を最小限にとどめ、全社員対象の研修を有効利用する。 ・シダックスグループによる消耗品の一括購入。社内共有品を優先的に活用。	(1) 収入 指定管理料 18,250千円 支出 人件費 14,000千円 管理運営費 4,250千円 (2) ・節電、通風の工夫、クールビズ、ウォームビズなどの励行。 ・ペーパーレス化。 ・地域への物品の寄付呼びかけによるリサイクルの推進。